

平成 29 年度 地域生活支援部会の活動状況（中間報告）

1. 委員構成

29 年度の委員構成（6 名）は以下のとおり

第 2 回から委員 1 名が交代しています。

	氏名（敬称略）	機 関 名 等	備 考
1	寺田 勝昭	社会福祉法人 清和会 鎌倉はまなみ 鎌倉わかみや施設長	部会長
2	栗田 京子	社会福祉法人 ラファエル会 鎌倉地域支援室室長	副部会長
3	片山 壽	社会福祉法人 ほしづきの里 理事・施設長	第 2 回から 新委員
	町田 真理子	特定非営利活動法人ゆうほ 五所神社前レジデンス施設長	
4	小金丸 良	鎌倉市地域活動支援センター 特定非営利活動法人よあけ施設長	
5	根本 さおり	株式会社ツクイ ツクイ鎌倉管理者	
6	内藤 昭二	社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会 事務局長	新委員

2. 部会の開催状況等

(1) 第 1 回部会

- ・日 時 6 月 27 日（火）14 時から 16 時
- ・場 所 福祉センター 福祉団体活動室

【主な協議事項等】

- ① 障害者施策への提言（鎌倉市障害者福祉計画の改訂に向けた協議会からの意見）の
提出について

（協議・取組み等の状況）

⇒ 29 年度第 1 回全体会等までの協議を経てまとめられた障害者福祉計画の改訂に向けた提言（5 項目・19 件）について、主に地域生活支援部会に関連の深い事項を中心に協議・確認を行った。

- ② 交流会活動の取り組みについて

○大船まつりパレードへの参加「つながり隊」の実施状況

○「ふれあい交流会」の実施状況（今泉さわやかセンター生活講座への参加）

（協議・取組み等の状況）

⇒ 28年度及び29年度事業として、取り組んだ上記2件の交流会活動の実施状況について報告を行った。

大船まつりパレードへの参加については、継続した取組みをしていく意見があり、検討していくこととした。

＝地域生活を支えるための課題の検討＝

③ 「鎌倉市移動支援サービスに関するガイドライン」について

（協議・取組み等の状況）

⇒ 横三圏域における移動支援事業所アンケート調査結果を踏まえ、改めて協議会として市内の移動支援の状況に関する調査について検討していくこととした。

なお、市のガイドラインの見直し等の取組みを進めることについては、市の方針等が示されるのをまって、改めて検討していくこととした。

④ 地域生活支援拠点等の整備について

（協議・取組み等の状況）

⇒ 共同生活援助（グループホーム）に関する横三圏域の実態調査結果が、まだ示されていないため、結果を得てから改めて関連する地域生活支援拠点等の整備に関する課題等について協議・検討を進めていくこととした。

⑤ 鎌倉市避難マップの改訂版について

（協議・取組み等の状況）

⇒ 29年4月に改訂版として再発行された避難マップについて、内容の確認を行い情報共有を図った。

（2）第2回部会

・日時 9月22日（金）14時から16時

・場所 福祉センター 第3会議室

【主な協議事項等】

＝地域生活を支えるための課題の検討＝

① 移動支援事業について

○ 近隣市の状況について

（協議・取組み等の状況）

⇒ 近隣市（横浜市、藤沢市、逗子市）と、鎌倉市のガイドライン等の位置付け（作成目的）、公開の状況、対象、実施方法、サービスの内容、利用時間、及び利用者

の負担等について、資料により比較検討を行った。

○「鎌倉市移動支援サービスに関するガイドライン」の検討（見直し）について
（協議・取組み等の状況）

⇒ 市障害者福祉課で、これまでの部会等の協議等を踏まえガイドラインの見直しの検討を進めていくこととなったため、その素案等がある程度まとまった段階で改めて素案等について部会に提示を受けて検討・協議を行っていくこととした。

主な意見等

- ・基本的に利用者本人や家族に安心感が得られるような視点で検討（見直し）をしてほしい
- ・現ガイドラインでは、状況等によりサービスを使えるとしているが、その事情の捉え方について再検討が必要ではないか。具体的な項目や例示がないと分かりにくい。特に、精神障害者の方の利用がしづらい面がある。
- ・以下の点について見直しを検討して欲しい。
 - *通所・通学におけるサービスの利用
 - *近隣市との足並みに留意して（上限時間の設定等）
 - *グループ支援の適用
 - *身体介護有・無の区分
 - *待ち時間への措置
 - *移動支援の守備範囲となるサービス（具体的に）

○ 市内事業所へのアンケート調査（障害者福祉課実施予定）について
（協議・取組み等の状況）

⇒ 市内の 28 事業所を対象に、提供の実態、ニーズ、地域課題等の把握を図るため、市障害者福祉課が主体的にアンケート調査を実施していくこととした。
調査票（案）については、部会へも提示してもらって検討していくこととした。
なお、実施時期は、その進捗をみて改めて検討することとした。

② 地域生活支援拠点等の整備について

（協議・取組み等の状況）

⇒ 共同生活援助（グループホーム）に関する横三圏域の実態調査結果が、まだ示されていないため、結果を得てから改めて関連する地域生活支援拠点等の整備に関する課題等について協議・検討を進めていくこととした。

なお、グループホーム利用の（市内の）待機者数の把握を行っていくため、相談支援事業所やその他事業所等の協力を得ながら、当事者に対する聞き取り調査等

を実施する旨の提案があり、今後、実施方法やスケジュール及びアンケート調査票の項目等について検討を進めていくこととした。

③ 交流会活動の取り組みの検討について

(協議・取組み等の状況)

⇒ 下記の企画内容(案)を基に実施に向けて準備を進めていくことが了承された。

《名称(案)》 腰越地区地域交流会『高齢者福祉講座』への参加

《開催目的》 地域で共に支えあい、暮らしに安心感と生きがいを生み出すような仕組みづくりを、いろいろな地域での交流やふれあいを通して実施する。

《予定月日》 平成29年11月21日(火) 13時30分～15時30分

《実施場所》 腰越行政センター

《内容(案)》 腰越地区社会福祉協議会・西鎌倉地区社会福祉協議会・みらいふる鎌倉(鎌倉市老人クラブ連合会)主催の「高齢者福祉講座」に参加

(第1部)『熊本地震災害の紹介』

(第2部)『障害を知ろう』(15分程度)

- ・避難マップにより「避難所におけるニーズと配慮」を説明
- ・鎌倉薫風の利用者からクッキーを作る作業の紹介
- ・地域の作業所から取組みの説明 等

(第3部)『落語』鑑賞

《参加予定》 当事者本人 6～7名程度

支援者 5名程度

以上